

NEW OKUNO HOSOMICHI・YAMAGATA
新・奥の細道

一周ルート
⑤

緑豊かな眺海の森のみち
Midoriyutakana-choukai-no-mori



山形県

周辺の
アクセス
ガイド

- ・松山町までは
庄内空港よりタクシーで25分。
JR酒田駅からバスで40分。
- ・平田町までは
庄内空港よりタクシーで30分。
JR酒田駅から羽越線で砂越(砂越)駅まで10分。



観光・宿泊のお問合せ	松山町観光協会 〒999-68 松山町字山田20-1	☎0234-62-2611
	平田町観光協会 〒999-67 平田町大字飛鳥字契約場30	☎0234-52-3111
交通のお問合せ	JR酒田駅 〒998 酒田市幸町1-1-1	☎0234-22-4102
	庄交バスターミナル 酒田出張所 〒998 酒田市幸町2-11-1	☎0234-24-9292
コースのお問合せ	松山町企画開発課 〒999-68 松山町字山田20-1	☎0234-62-2611
	平田町企画課 〒999-67 平田町大字飛鳥字契約場30	☎0234-52-3111
	山形県自然保護課 〒990 山形市松波2-8-1	☎0236-30-2204

表紙の写真は、眺海の森「花時計」

みどころ案内
GUIDE

眺海の森

Choukaino-mori

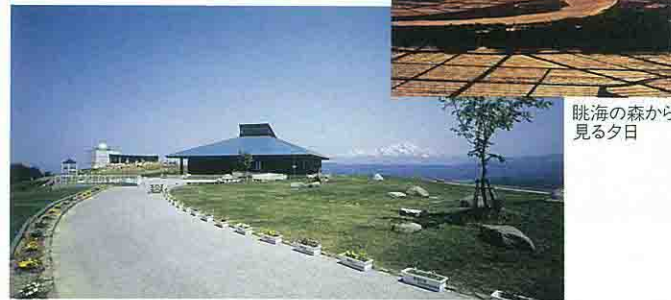
四季折々の自然景観をパノラマ展望できる眺海の森の施設として、さまざまな施設が整備され、地域の生活リゾートとなっている。食事・宿泊等施設としては、外山ロッジ・丸太ハウス・展望休憩所(ピアン)。レクリエーション施設として、冒険遊具を備えたキャンプ場や多目的広場・野外ステージ、スキー場がある。スキー場には、年間を通じてスキーを楽しめる人工ゲレンデも整備されている。また、学習施設として、森林学習展示館・薬草園・野鳥観察施設、そして500mmの大望遠鏡を備えた天体観測館(コスモス童夢)が整備され、子供から大人まで自然を満喫できる。

◎森林学習展示館(眺海の森インフォメーションセンター)

- ◆開館期間/4月1日~11月30日
- ◆開館時間/午前9時~午後4時30分
- ◆休館日/毎週月曜日(祝祭日の場合は翌日)
- ◆入館料/無料

◎コスモス童夢(天体観測館)

- ◆開館期間/3月16日~12月28日
- ◆開館時間/午前9時~午後4時30分
- ◆休館日/毎週月曜日(祝祭日の場合は翌日)
- ◆入館料/大人100円(団体90円)、子供50円(団体40円)
- ◆夜間公開日/「ご利用のしおり」または「観測館だより」をご覧ください。



眺海の森(中央 森林学習展示館、左 コスモス童夢)と鳥海山

眺海の森ピクニックランド Choukaino-mori-pikunikku-rand

雄大な自然の中でスポーツやレクリエーション、自然散歩、森林浴など楽しめるピクニックランド。多目的グラウンドをはじめ、全天候型テニスコート3面、ショートホール4つが基本の「ミニゴルフ場」(コースアレンジにより最長200m以上の打ち上げ可能)人工芝を敷きつめた斜面を一気に滑りおろす「ちびっ子ゲレンデ」、子供たちが遊べる「わんぱくとりで」や「マムム」などの施設が充実し、家族づれでもゆっくり遊べる。冬期間は平田スキー場もオープンする。思いっきり遊んだら、「森の家」で疲れをいやすこともできる。そこでは味の良さと腰の強さで定評がある「そば」や「むぎきり」を味わうことができる。



ピクニックランド「森の家」

松山町と平田町の境に連る一帯約300haは、「眺海の森」として平成元年にオープンした。頂上からは、南に月山、北に鳥海山をはじめ庄内平野の田園風景と日本海に注ぐ最上川、水平線に浮かぶ飛鳥島が一望できる。自然歩道周辺は、種類の豊富な山野草や樹木により四季おりおりの自然が楽しめる。

きのこ杉と総光寺庭園

Kinokosugi-to-sokojiteien



総光寺参道「きのこ杉」

きのこ杉(県指定天然記念物)が美しく立ち並ぶ参道を登ると、豪壮な山門に迎えられる。曹洞宗洞瀧山総光寺は、南北朝時代およそ600年前に開かれ、山門は今から180年前の文化8年に落成している。本堂の裏に蓬萊園と呼ばれる庭園がある。池、泉、築山を配し、遠く峰の薬師を望み、滝を落として禅宗の寺にふさわしい静寂の美を漂わせる庭園で、国の名勝に指定されている。小堀遠州流の様式を取り入れ、春のつじと秋の紅葉はことのほか美しい。参道両面に並ぶ約120本のきのこ杉は、江戸時代の初めに植樹されたといわれ、およそ350年の歳月を生きている。昭和31年に県の天然記念物に指定された。歴代の住職の手により美しいきのこ杉の景観をつくり出してきたもので、土湯系の杉といわれている。



総光寺庭園

歴史公園

Rekishi-koen

松山藩主三代藩主酒井忠休は、幕府若年寄を永年にわたって勤めた功により25,000石の大名となり、松山城の築城を許され、天明7年(1787)に落成した。

現在、その城跡には大手門が残っており、歴史公園として利用されている。

◎松山城大手門

現存する「大手門」は、寛政4年(1792)に酒田の本間家の寄進により再建されたもので、県内で唯一残っている城郭建築である。幅4.5m、奥行9m、高さ12.5mの2階建て総檜造りの堂々たるものである。県指定文化財。



歴史公園「松山城大手門」

YAMAGATA MAP

東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



"新・奥の細道"とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特色ある文化や歴史と親しむためのみちです。

"新・奥の細道"は正式には東北自然歩道といいます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この"新・奥の細道"は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで792kmとなっています。

この"新・奥の細道"を楽しむために

1. コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
2. 歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
3. 天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発!

おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
- ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
- ・案内板や休憩所はみんなのもので、大切にしましょう。
- ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金元還元融資を受けてつくられました。